

編集・コア編集委員会

*** 権利を使おう
組合を大きく！**



全大教第57回定期大会

民主的な大学の重要性を確認

7月20日、全国大学高専教職員組合第57回定期大会がオンラインで開催されました。78単組から59名の代議員が出席し、今後の運動方針を議論しました。全大教も組合員数減少の影響で財政状態が悪化しており、数年後には繰越金がなくなるという見通しとなり、財政運営積立金という特別会計が設置されることになりました。



そのような中、岐阜大学職員組合は、新任職員説明会での勧誘を通して、病院職員22名、教員9名の加入を得ることができたのと、私たちも組織拡大に努めましょう。(執行委員長 片山知史)

宮城県労連第36回定期大会

労働基準法の改悪のたくらみ
許さないたたかいを

宮城県労連の第36回定期大会が行われました。議題は主として2024年春闘の総括とこれを受けての2024年度運動方針案でした。2024年春闘では平均で昨年を1498円上回る7954円、率にして3.01%の賃上げを勝ち取りましたが、物価上昇を上回ることができていません。

単組からの報告の中では、ストライキを構えた上で、オンライン参加を含めると120名の組合員が参加した団体交渉で待遇改善を勝ち取った医労連などが紹介されました。また、2023年に続いて2回目となる非正規春闘では、首都圏青年ユニオンなどの支援も受けつつ行われた仙台市内のスローでのストライキで、10%の賃上げを勝ち取った取り組みも紹介されました。2024年度人権の大幅な改善や最低賃金の引き上げもこのような民間の春闘の成果を反映したものであります。

一方、厚労省の有識者会議「労働基準関係法研究会」で、労働基準法の

強行規定(8時間労働、給与の一括現金支給など、「・・・しなければならぬ」と定めた法)の原則を緩め、労使の合意によって多様な労働条件を可能とする方向での検討が進んでいることが紹介されました。自民党総裁選で小泉進次郎氏が解雇規制の撤廃を打ち上げたことなど、これから戦後の労働運動が勝ち取ってきた労働者保護制度をなし崩しに壊されていくことが危惧されます。この問題については連合系の組合とも協力して学習会などの取り組みを行うことが提起されています。(理学部支部 田嶋玄一さん)



発言する医労連の仲間

東北大学職員組合
新春交流会

2025年1月17日(金)

相談カフェのお知らせ

日時：11月19日(火) 18時～20時

お茶とお菓子を用意します。出入り自由です。

お気軽にお越しください。

場所：片平キャンパスの組合書記局

全大教「秋のオンライン交流集会」

教育研究環境に問題が山積 組合を強く、大きく

*教員部

9月7・8日にかけ、全大教「秋のオンライン交流集会」が開催されました。私は7日午後に参加された「教員部」に参加しました。私を含め15名ほどの参加者がいました。

論点は、「裁量労働制不同意の場合の働き方」および「フルタイム換算データに見る大学教員の働き方」の2つでした。

第1の論点に関して、裁量労働制に同意しなかった教員の現状が2つ紹介されました。1つは大学側が柔軟に対応しているため、特に問題は生じていない事例であり、もう1つは大学側の対応が非常に硬直的で脅しのような提案を受けたため、結局は裁量労働制に同意した事例でした。

第2の論点に関して、文科省が公表しているデータを参照しながら、

大学教員の1年当りの平均労働時間が減少傾向にあることが紹介されました。これは、明らかに、われわれの実感にそぐわない結果であり、特任などの非正規の教員が増えた影響や個々の教員によって「労働」の定義が異なる可能性を議論しました。また、語学系の教員をはじめとして、授業担当コマ数が多めに多く、研究に十分な時間を割くことができない現状などにも議論が及びました。

今回の交流会で、教員の教育研究環境には問題が山積していることを改めて認識できました。日本の大学の研究能力・環境の劣化を防ぐには、組合活動にますます力を入れていく必要があります。

黒瀬一弘

*女性部

久しぶりに参加しました。国公立大学あわせて12名、うち東北ブ

最賃大幅引き上げ、徳島よくやった!

10月1日、宮城県最低賃金(時給)が50円アップして973円になりました。実は、27県で51円以上アップし、徳島県は84円アップの980円です。宮城県もここは競うべきです。ちなみに、東京は1,163円。最低保障制度なのですから全国一律1,163円にすべきです。そのうえで、現実の賃金は「横並び」である必要はありません。民間が賃金改定で重視しているのは「企業の業績」であって「世間相場」ではありません(政府統計)。そのためにも、学費値上げではなく無償化を実現するためにも、政府に削られた運営費交付金(20年間で1,600億円)と元気を、国立大学に取り戻しましょう。とくに東北大学は「企業の業績」(総長裁量経費100億円)を強調して卓越大学に立候補したのですから、それにふさわしい賃金改善をすべきです。(書記 小野寺智雄)

***小野寺書記は、今年の社会保険労務士試験に合格しました。(祝!)**

組合の財政にご支援ください

ちひろカレンダー

1本1,500円(消費税はいただきます)

書記局にご連絡を

高橋 京

ロックから弘前大と福島大の参加があり心強く感じました。他大学は教員の組合員が多く、東北大学としても女性教員の組織率をあげなければならぬと感じています。初めに大学構成員に占める女性の比率が紹介されましたが、目標も20・30%と低く、そ

ひきだし

パブロフの犬

直属支部 浜手雄一郎さん

最近、ホリエモンが

宇宙産業に参戦したり、民間ベンチャーのロケット打ち上げ(失敗してしまいました)の話もあって、宇宙産業が盛り上がりつつあります。それでもやはりJAXAが打ち上げる大型ロケットは花形ですよ。JAXAが使う打ち上げサイトは二カ所あり、H2Aや運用が終わったH2B、最近デビューしたH3ロケットは種子島宇宙センター、少し小型のイプシロンロケットは本土大隅半島の内之浦宇宙空間観測所から打ち上げられます。

私は以前、この打ち上げられるロケットをリーダーで追尾する仕事をしておりまして。簡単に言うと、燃料を満載したロケットが変な方に飛んで行ってしまったら、墜落して大損害を出す前に指令破壊をしなきゃいけないので、そのために今実際にどこを飛んでいるのかをリアルタイムで把握するための追尾局のオペレーターですね。

打ち上げの仕事をしているという、いいな一ロケット見れて羨ましい、と言われるのですが、実は追尾局スタッフは打ち上げ見られないんですよ。私の場合、打ち上げ時に見ているのはPCの画面に映される数字の羅列でした。

そして先ほど述べたように失敗すると大損害ですし、打ち上げが延期になると追加にかかる費用は1日あたり〇億円とか言われていて、オペレーションにミスは許されません。

なので、打ち上げ直前とかは、緊張で手汗と脇汗がすごいことになります。そんな仕事を3年ほどしていたのですが、実は今でもロケット打ち上げのカウントダウンの音声、女性の機械音声なんです。30、29、28というのを聞くだけで、手汗が止まらなくなる、という完全にパブロフ状態になってしまったのでした。

結局打ち上げを肉眼

で見ることはなかったの、転職後に遊びで見に行きましたが、やはりカウンタダウンの音声で手汗だらだらにしながら、動画を取りましたね。その時のキャラクターがこれです。



バスハイク10/20

命の尊さを心に刻むミュージアム

宮城一般労働組合女性センターと宮城県労連女性部合同主催のバスハイクに参加しました。今年は平和学習ということで福島県白河



囚人服

市にある「アウシュビッツ平和博物館」訪問でした。参加者34名のツアーで道中車内では自己紹介で交流しつつ3時間ほどで到着。ここはポーランド国立アウシュビッツ博物館から提供された関連資料など200点が展示されている日本で唯一の場所、アンネフランクに関する展示もあり当時を知る貴重な施設であります。

来年で戦後80年、戦争経験者がどんどん亡



アンネフランクに関する展示物もたくさんあります

編集後記

(多元研支部 後藤 洋子さん)

くなっていく中で、我々は悲惨な歴史を学び平和への努力を続けていく大事さを繋ぐ役目があるのだと痛感した一日でした。

先日、の衆議院議員選挙で自公が過半数割れを起こしました。これまで数々の力で悪法を続々成立させた政治にストップをかけましょう。大学の自治を守れ！大学の運営費交付金を増額せよ！の声をさらに大きくしていきましょう。(編 M)



古民家を活用した博物館